

平成30年度第1回酒々井町総合教育会議 議事録

開催日 平成30年7月31日(火)

開催場所 役場中央庁舎3階会議室

出席者	町長	小坂 泰久	教育長	木村 俊幸
	教育長職務代理者	石井 國治	教育委員	村重 浩二
	教育委員	林 洋子	教育委員	浦壁 京子
事務局	教育次長	福田 良二	総務課長	大塚 正徳
	政策秘書室	高梨 和久	学校教育課長	玉井 清人
	こども課長	七夕 夕美子	こども課副主幹	伊藤 雄三

1 開会時刻 13:30

2 町長挨拶

3 議題

(1) 外国語教育について

(2) ICT教育と環境整備について

(3) 教職員の働き方改革と部活動支援について

4 その他

5 閉会

6 閉会時刻 15:10

議事録

1 開会の言葉

七夕こども課長

ただいまより、平成30年度第1回酒々井町総合教育会議を開会いたします。

次第に沿って進めさせていただきます。初めに、小坂町長より皆様にご挨拶を申

上げます。

2 町長挨拶

小坂町長

皆さんこんにちは。町長の小坂でございます。教育委員の皆さんには日頃より大変お世話になっております。本日、平成30年度第1回酒々井町総合教育会議に全員のご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

本日は、議題が3件とその他がございまして、盛りだくさんの内容となっておりますが、概ね1時間程度で会議を終了できればと思っております。皆様方から貴重なご意見をいただき、その中で酒々井町の教育のあり方も含めて、しっかり進めてまいりたいと考えておりますので、どうかよろしく願いいたします。

3 議題

七夕こども課長

続きまして、議題でございますが、酒々井町総合教育会議運営要綱第3条第2項により、議長は町長が務めることとなっておりますので、今後の議事進行は町長にお願いいたします。よろしく願いいたします。

小坂町長

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。議題(1)「外国語教育について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

(玉井学校教育課長 説明)

小坂町長

事務局の説明が終わりました。

ご意見、ご質問等があればお伺いいたします。

木村教育長

中学3年生の英検受験に対して補助金を交付する「パワーアップE」という事業がありますが、生徒達の英検の取得状況は事業を始める前後で変化が見られますか。実績について説明してください。

玉井学校教育課長

昨年度の3級以上の取得率は36.9%です。前年度については、手元に控えてございませんが、昨年度より低い状況となっております。後ほど、正確な数字をご報告させていただきます。

木村教育長

英検3級の取得率については、町のまち・ひと・しごと創生総合戦略の重要業績評価指数(KPI)の中で数値目標を掲げています。これは、上方修正できる水準に来ているのではないですか。

玉井学校教育課長

取得率等の状況が良いことから、目標を50%に上方修正したいと考えておりま

す。

木村教育長

現在の目標の次の段階として、国の目標値である50%と同じ数値に目標を切り替えたい、ということですので、教育長としては、この目標をぜひ達成したいと考えております。

小坂町長

上方修正したい、ということですが、修正後の目標は達成できそうですか。

玉井学校教育課長

現在、50%には到達しておりませんが、達成できるようにしたい、という考えは教育委員会と学校で共有しております。

小坂町長

いずれにしても、補助の効果で徐々に結果が出つつある、という状況のようでございます。他にご意見等はございませんか。

石井教育長職務代理者

先日、ドイツから学生を受け入れました。学校で接した生徒達が非常に興味を持ったようです。ぜひドイツに行ってみたい、という声も聞こえてきています。ドイツの学生を目の当たりにして、外国語を生で聞いて、関心・興味が高まり、外国語教育としての効果が出ているものと思います。

林委員

保育園でも英語に触れ合う機会を設け、小学校でも本年度から専科教員を配置しています。こうしたことが園児・児童・生徒の関心を高めているものと思います。専科教員との触れ合い、ALTとの触れ合いによって、楽しみながら英語を学ぶことができるようになると思います。こうした流れが、今後、中学生の英検取得率の向上などにもつながってきますので、継続をお願いしたいと考えます。

また、小学5・6年生は週に2時間・90分の学習を行っていますが、45分の授業を2回と10分を9回では効果が違いますので、今後は、専科の先生との触れ合いの時間を確保することも学校で検討していく必要があるのかな、と思います。

小坂町長

石井委員からのご意見ですが、ドイツにしてもオーストラリアにしても、希望者の派遣だけでは広がりがない面もあります。外国から来てくれることによって、全校に効果が波及することは大いにあると思います。

また、林委員のおっしゃった、2時限90分の授業時間の割り振りといいますか、そのような授業展開、触れ合いの時間の確保は、学校で可能なのでしょうか。

木村教育長

モジュール化といいまして、授業時間を小刻みに展開する方法もございます。これは、メリットもありますし、運営上難しい面もあります。誰が教えるかとなったときに、今の酒々井町では、英語の専科教員を配置しましたが、毎日来ていただくことができません。そうした事情もあります。5・6年生は教科となりますので、免許を持った方に授業を受け持っていただきたいという事情もございます。諸々事情はありますが、校長の経営方針等に沿って進めていただきたい、と私は考えてい

ます。

小坂町長

そのような事情があるということですが、林委員よろしいですか。

林委員

はい、承知しました。

小坂町長

3・4年生も週1時限の英語がありますので、モジュール化ということではありませんが、触れ合いの時間などの工夫もできるのかな、という印象を持ったところ
です。

私が申し上げている早い段階での英語との触れ合いというのは、保育園から英語に親しんで、遊びの中で英語と関わって、英語に対する苦手意識などを持たないようにしていただきたい、ということです。酒々井町の保育園に通っているお子さんは、3歳から継続して英語に触れ合うことができる、少しずつ少しずつ英語に親しんで、ステップアップしていける環境を作っていく、という構想のもとに進めておりますが、事務局からこうした面で説明ができますか。

七夕こども課長

保育園では、3・4・5歳と英語に触れ合っています。時間は長くありませんが、子ども達が集中できる時間を見計らって進めています。数や動物の名前などを組み合わせ先生が伝え、その後、子ども達が自分の考えで組み合わせしていく、というような授業を参観しました。年間を通じて週に1回、英語に親しむ時間を設けています。子ども達の様子を見ても抵抗はないようですので、このまま小学校に入学しても英語に関する苦手意識などは持たずに取り組めるものと期待しています。

小坂町長

他にご意見等はございますか。

村重委員

酒々井町では、保育園でも英語に触れ合える、昨年からは中学生のドイツ派遣が始まるなど、事業が充実しています。我が家の娘も、中学3年生の際にオーストラリアに派遣させていただき、帰ってきてからは本人も自信がついたのか、成績が安定しました。高校生となった現在でも英語は得意教科となっています。

この後の議題になりますが、できれば小中学校にタブレットを導入し、英語教育に結び付けていくことが可能だと考えます。

小坂町長

タブレットの話は、次の議題のICTの際に意見交換するとしまして、娘さんがオーストラリアから帰国して成績が上がったというのは、良い事例だと思います。

浦壁委員、ご意見はいかがですか。

浦壁委員

パワーアップEは、英検3級以上の取得を目指しているとのことですが、これは卒業までにとという意味か、一人いくらの検定料が補助されるのか、などもっとPRすれば家庭にも周知が行き届き、チャレンジしてみよう、という生徒が増えていくのかな、と思います。

今回、ドイツのお子さんのホームステイを受け入れましたが、その際、あらためて英語は共通言語だということを認識しました。日本語も大切にしながら、英語も大切にしながら、貪欲にチャレンジして行ってほしいと思います。

小坂町長

パワーアップEの検定料の補助は、一人一回なのか、あるいは、残念ながら合格しなかった場合は、さらにもう一度補助がされるのか、事務局から説明してください。

玉井学校教育課長

一人一回のチャレンジとしています。第一回は6月、第二回は10月、第三回は1月に検定があります。生徒は、自分のタイミングで検定を受けることになります。ただし、すべての生徒が3級を受けるわけではなく、4級の生徒も3級の生徒も準2級の生徒もいます。トータル58万9,700円を補助しています。一人当たり4,000円ほどの補助になっております。

先ほどの3級取得者のデータがまいりましたので、お答えさせていただきますと、3級以上の取得率は、平成26年度が3.5%、平成27年度が8.3%、補助が始まった平成28年度が22.2%です。この年に大きく上昇したことが確認できます。そして、平成29年度が36.9%です。このように推移を見ますと、補助の効果が顕著に見て取れます。また、重要業績評価指標で上方修正したい50%という目標値は妥当であるのかな、と考えるところです。

木村教育長

補助の対象は、中学3年生だけです。その年度に限り、一回だけ補助を受けることができる制度です。2年生までに4級ぐらまで取得し、3年生で3級・準2級を受験できるようになるのが、教育委員会としては理想です。

玉井学校教育課長

昨年度、3年生186名中179名が受験しています。受験できなかった生徒にも家事都合・体調不良など明確な理由がありましたので、ほぼ100%の生徒がチャレンジしていることとなります。

小坂町長

必ず3級を受けなければならない、ということではないと聞こえましたが、生徒の状態に応じて4級でも5級でも受けることは可能と考えてよろしいですか。

木村教育長

可能です。高校受験の話になりますが、英検3級合格は高校受験の際の内申書で加点になります。1月に3級を取得して、それはそれで良いことなのですが、内申書の作成はその段階では終わっていますので、できれば10月の第2回目の受験で3級以上を取得するのが理想ということになります。

小坂町長

ひととおりのご意見を伺いましたが、本日のまとめとしましては、資料に今後の課題として3点ほど上がってございまして、予算を伴うものですが、概ねこのとおりのまとめる方向でよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

それでは、そのようにさせていただきます。

次に、議題(2)「ICT教育と環境整備について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

(玉井学校教育課長 説明)

小坂町長

事務局の説明が終わりました。

文部科学省の目標ですとか、町の課題等について、ご意見、ご質問等があれば伺いたします

木村教育長

酒々井町は、他に先駆けて小中学校すべての耐震改修が終わり、すべての教室にエアコンが完備されています。これは自慢できることで、町外の学校に勤務している教職員からは羨望の眼差しで見られております。一方、教職員のソフト面での要望は、校長を通じて聞いておりました、中でもICT環境の充実が求められています。特に普通教室への地デジテレビの導入と統合型校務支援システムを求める声が強いです。全日本中学校長会の平成29年度情報共有に関する調査によれば、公立中学校の約70%が校務支援システムを導入していることがわかりました。いづれにしても、業務の効率化・教師の負担軽減という観点からも、できるだけ早く整備していきたいと考えております。多額の費用を要する事業ですが、どうにか実現したいと考えております。

小坂町長

教育長からまとめてお話がありましたが、統合型校務支援システムは、印旛郡でも栄町と酒々井町が未導入で、富里市が独自に行っているということですが、遅れをとるわけにはいきませんので、検討をさせていただきたいと考えております。

参考までに、現段階で導入するとした場合の金額を事務局は把握していますか。

伊藤こども課副主幹

あくまでも、去年の段階のものですが、5年間の長期継続契約を念頭に置いたリースの見積金額は、約5,000万円です。

ただし、この費用は、学校側の希望をすべて取り入れたものであり、さらに導入に当たってのセキュリティ対策やインターネットなどの通信費も含めたものですので、申し添えます。

小坂町長

少し私が想像していた金額よりも高いようですが、導入している他市などもそのような金額ということでしょうか。

伊藤こども課副主幹

先ほど申し上げたのは見積額ですので、仕様内容の再考や競争入札により下がることも想定されますが、郡内他市が導入している業者から徴取した見積額というこ

とから、金額的には概ね同様と思われます。

小坂町長

委員の皆様からご意見はございませんか。

石井教育長職務代理者

先日、教育委員の視察研修で静岡県藤枝市に行っていました。その中で校務支援システムの話になり、酒々井町も含めて印旛郡市の状況もまだ導入されていないと思っていましたが、後で酒々井町と富里市と栄町以外はすでに導入されていると聞き、驚いたところです。北海道などでは、広域的な導入によりコストを抑えるなどしているようです。酒々井町でもそのよう手法で実施できれば良いのかな、という印象を持ちました。

小坂町長

校務支援システムに限らず、いわゆる地方はそのような実施をしているところが多い状況です。ところが、印旛郡市は不交付団体の成田市があったり、市町によって状況の差が大きいので、一律に足並みが揃いづらい、という側面はございます。

そのような状況の中、酒々井町はエアコン整備や耐震化改修を先行して実施しました。他の市町は、校務支援システムなどを先行して実施し、エアコンはすべての学校に行き渡っていない、という状況もあります。すべてを一挙にはなかなかできませんので、優先順位・メリハリをつけて事業を実施していかなければならない事情もございます。

いずれにしても、本日の協議の中では、結論付けが難しい部分もありますので、予算の策定状況等も含めて、11月頃に再度総合教育会議を開催させていただき、状況等のご説明をさせていただくということで、本日はよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

小坂町長

それでは、そのようにさせていただきます。

次に、議題(3)「教職員の働き方改革と部活動支援について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

(玉井学校教育課長 説明)

小坂町長

事務局の説明が終わりました。

ご意見、ご質問等があればお願いします。

木村教育長

中学校部活動補助金は、年間90万円ということですが、生徒一人あたりに換算するといくらぐらいになるのですか。

玉井学校教育課長

2,000円弱ぐらいです。

木村教育長

部活動補助金の使途は、主に交通費・登録料・大会参加料です。登録料は年に1回ですが、大会参加料はその都度必要です。交通費も練習試合などでも必要になってきます。そのような中、一人いくらぐらい必要になってくるのか、データはありますか。

玉井学校教育課長

正確なデータは難しいのですが、2,000円以上であることは事実だと思われ
ます。2,000円で生徒数を掛けると100万円となりますが、昨年度の登録料・
参加料などから、それでも不足が見込まれる状況です。交通費は、保護者の負担軽
減・公共交通機関の利用などを検討していますが、正確なデータは持っていない
ので、調べてまいりたいと考えております。

小坂町長

部活動は、スポーツにしても文化活動にしても、生徒の心身の発達に非常に重要
と考えています。本件も、11月の会議までに事務局でデータを揃えていただきま
して、さらに協議ができればと考えております。

他にご意見はございませんか。

村重委員

昨年、教育委員会の全国研修に参加させていただきました。その中で、「校務支
援システムとICT機器の導入による教職員の負担軽減に向けた取り組みについ
て」というテーマがありました。茨城県の坂東市教育委員会の取り組み事例です。
校務支援システムを導入することによって、作業時間の大幅な短縮、短縮した分を
児童・生徒の所見の考察に向けることができた、などのメリットがあった、などの
説明がありました。酒々井町でもできるだけ早期にシステムを導入して、教職員の
働き方改革につなげていけるよう期待します。

小坂町長

貴重なご報告をありがとうございます。導入後の結果・成果というものを報告し
ていく、投資に対してどのようなリターンがあったか、校務支援システムの導入に
限らず、そのような前提のもとで様々な事業を進めていければと考えています。

他にご意見等がなければ、以上で議題を終了します。

次に、その他に入ります。

その他について、事務局から説明をお願いします。

(玉井学校教育課長 長野原町との交流事業について説明)

(七夕こども課長 酒々井中学校グラウンド拡張整備について説明)

小坂町長

酒々井中学校グラウンドの整備の段取りとしましては、まず、テニスコートを移
設しまして、次に野球場ですが、野球場を造りますと陸上トラックの移動が必要に
なりますので、移動先の用地の購入なども同時に進めてまいります。いずれにして

も、長期的に進める事業でございますので、ご理解をいただきたいと思ひます。
それでは、さらにその他について、事務局から説明をお願いします。

(七夕こども課長 酒々井小学校用地の公有地化について説明)

小坂町長

酒々井小学校用地は、公有地化を進めていますが、3割程度借地が残っている状況ということですか。現在、年間の借地料はいくらですか。

七夕こども課長

本年度は、780万円ほどです。

石井教育長職務代理者

地権者はすべて地元の方ですか。

小坂町長

町外の方もいらっしゃいます。以前に比べると地権者数も筆数も、借地料もずいぶん減っていますので、今後も地権者のご理解を得ながら鋭意進めさせていただきたいと考えております。

他にご意見はよろしいですか。

ご意見等ないようですので、その他を終了します。

その他まで終了しましたので、進行を事務局に戻します。皆様のご協力ありがとうございました。

七夕こども課長

以上をもちまして平成30年度第1回酒々井町総合教育会議を閉会といたします。

お疲れ様でございました。